



向陵広場

発行号 第35号
発行日 平成30年7月19日(木)
発行元 向陵編集校友会
責任者 伊藤有司(県商10回卒)

「やればできる」 大林 則久 氏 県商22回卒(昭和48年3月卒)



モアシステム株式会社 代表取締役
株式会社システムハウス 取締役会長
愛知県情報サービス産業協会 常務理事

高校の頃を振り返ると、生徒会で会計をしたこともありましたが、決して優等生ではありませんでした。簿記が不得意で進級も危なかったことがあり、当時居残り勉強を強引にさせてくれた先生には感謝しています。無事に進級できたこと、簿記が得意科目になったこと、なにより「やればできる」を教えてくださいました。

私は大学に進学、経済学部で税理士を目指しましたが、これからはコンピュータの時代が来ると進路を変更しました。たとえば体裁は良いのですが、本当はアルバイトに励みすぎ勉強が疎かになり、資格取得に挫折しかかっていました。その頃、アルバイト先の会計事務所で会計データをコンピュータ処理する会社の方と知り合い、その方の勧めでコンピュータの世界に入りました。

25歳のときSEのための会社を作りたいと独立、システムの開発を専門とする会社を設立、要望もあり10年後システム構築・保守を専門とする会社を設立しました。休日を返上し何日か続けて徹夜になることも多く、地下鉄のホームで思わず1歩前へハットしたこともありましたが、高校時代に教えられた「やればできる」の心構え、部活で鍛えてもらった気力と体力でこれまでやり続けられたと思います。

振り返ればその時々、出会った方から教えられたことを思い出します。一度約束を破れば信用を取り戻すためにこれまでの3倍の努力が必要、協力するから協力してくれる、努力を惜しんだところで成長は止まる、一度やると決めたことは中途半端でやめない、常に公平な気持ちを持つこと、等等…いろいろありました。その思いを基本理念としてまとめました。

一、個人の尊重 一、社会への貢献 一、完全性の追求
この基本理念を会社経営の礎とし、社員と共に会社を育ててきました。お陰様で、システムハウスは38周年、モアシステムは28周年を迎えることができました。

55歳のとき、大きな病と出会いそれを期にシステムハウスの代表を退きましたが、術後も順調で転移もなく体力も回復しました。現在もモアシステムで私のライフワークでもある医療情報システムの仕事に携わっています。

年の初めに、干支該当者による一年の決意を色紙に書いて発表する行事があります。豊商の卒業生も10名を超えますが、今年初めて“以心為本”と掲げた社員がいました。「信を以って本と為す」信用が第一、信頼されることを目標に今年一年仕事を頑張りますと発表があり、久しぶりに校訓にふれ懐かしく思い出されました。
(豊商の群像Ⅲ向陵の人々①より抜粋)



豊橋市前田町の本社